

# 伸縮ステンレス整理棚

品番 TOS-10

このたびは当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用前にこの取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方でご愛用ください。この取扱説明書は組み立て後も捨てずに大切に保管しておいてください。

- 製品外寸法(約): 幅53~91cm 奥行24cm 高さ50cm 棚奥行21cm
- 耐荷重: 約12kg (棚1段あたり6kg)

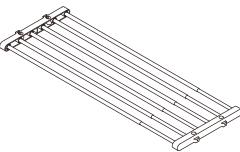
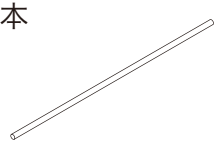
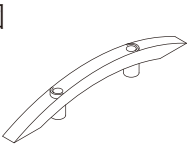
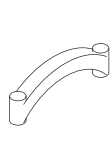

## 取扱説明書

### △ 組み立て前の注意事項

- パイプ端面には直接手を触れないでください。ケガの恐れがあります。(手袋を着用して作業を行ってください。)
- 各部品の向きをよく確かめてから、組み立て作業に入ってください。(ステンレス棚には表裏があります。)
- 組み立ては十分に広い場所で行い、床などを傷つけないようご注意ください。
- 本品には小さい部品が含まれております。紛失やお子様の誤飲には十分に注意してください。
- パイプは必ず、樹脂キャップの奥まで差し込んでください。

### ■ 部品一覧

※組み立て前に下図の部品がそろっているか確認してください。

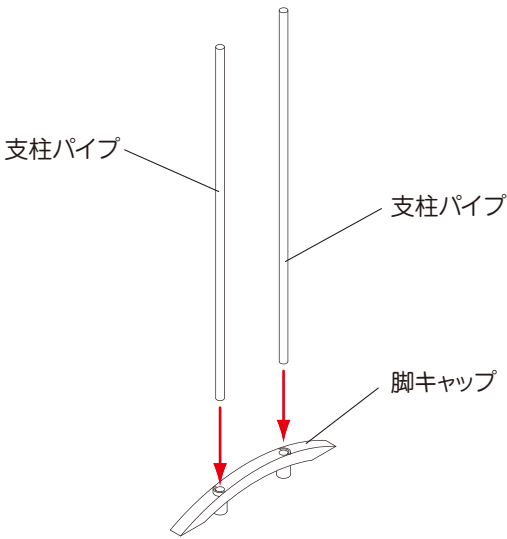
ステンレス棚	支柱パイプ	脚キャップ	上キャップ	固定ねじ
2枚 	4本 	2個 	2個 	8個  ステンレス棚に組み込んであります。

### ■ 組み立て方法

#### 手順 1 支柱部の組み立て

脚キャップへ支柱パイプを差し込みます。2組必要になりますので、2組とも同様の手順で組み立ててください。

※パイプ端面でケガをしないよう、注意してください。

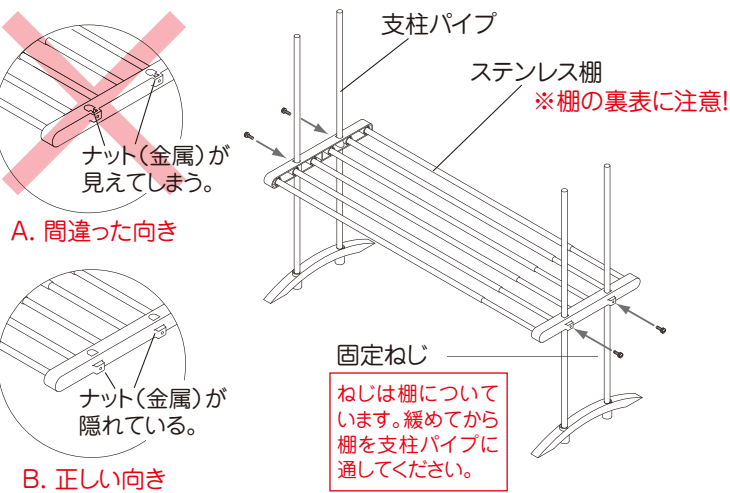


#### 手順 2 ステンレス棚(下段)の取り付け

①手順1で組み立てた支柱部に、ステンレス棚(下段)をセットします。固定ねじを緩め、棚の表裏を確かめてから支柱パイプに通し、おおよその位置を決めます。(この棚が下段になりますので、下から20cm以内がおすすです。)

※棚の裏表(図A、B参照)にご注意ください。

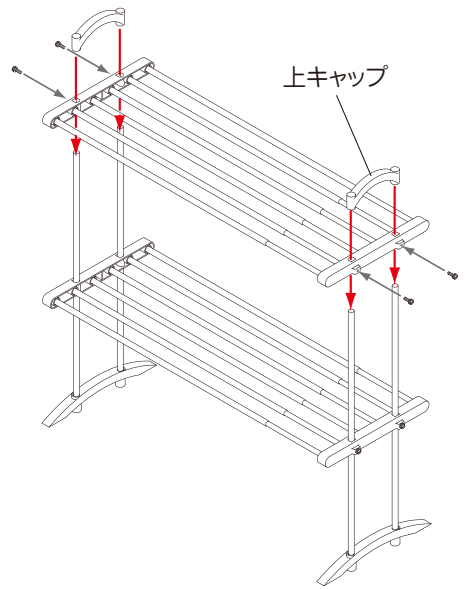
②位置が決まったら固定ねじで締め付けます。まず左右いずれかの支柱に仮止めします。それに合わせて反対側の支柱にも仮止めし、最後に、左右のバランスを見ながら両側とも本止めしてください。



#### 手順 3 ステンレス棚(上段)の取り付け

①ステンレス棚(上段)をセットします。手順2と同様に、仮止め、本止めを行い、歪まないように取り付けてください。

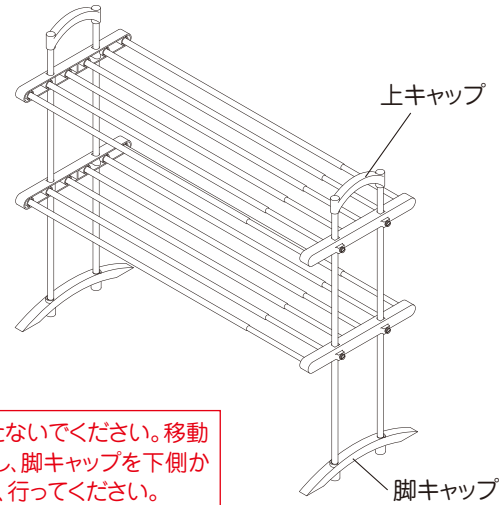
②ステンレス棚(上段)をセットした後、上キャップを支柱パイプの上端部にはめ込みます。左右とも、しっかり奥まで差し込んでください。



#### 手順 4 完成

各部にねじの緩みやぐらつき、歪み、または異常がないか確認してください。その後、もう一度ねじの締め付けを点検し、完成です。お好みのサイズ(伸縮範囲は上部に記載)に伸縮させてお使いください。

※ストップ線(赤い線)をこえて伸ばさないでください。



上キャップは絶対に持たないでください。移動の際は物をすべて下ろし、脚キャップを下側から抱えこむように持って、行ってください。

万一の事故を防ぐため、ステンレス棚の状態は定期的にチェックしてください。とくに固定ねじ(8箇所)に緩みがないか、また固定ねじの締め付け部位に、ひび割れなどの破損がないか、よく点検を行ってください。

### △ 使用上の注意事項

※注意事項は必ずお守りください。

●本製品を本来の用途以外に使用しないでください。●屋内の平坦な所に設置し、不安定な場所、傾いた所では使用しないでください。●表示の範囲以内、表示の耐荷重以内で使用してください。●製品の構造上、若干ガタつくことがあります。また力を加えると多少の揺れを生じますが、通常使用には差し支えありません。●高温となる所や湿度の高い場所、直射日光の当たるところ、屋外では使用しないでください。●分解や改造は危険ですので絶対にしないでください。また改造や目的以外の使用、不当な使用に対して当社は一切の責を負いません。●棚はパイプ構造になっておりますので、安定性の欠くものをじかに載せしないでください。●荷重は1箇所集中させず、均等にバランスよく載せてください。●急激に荷重を掛けたり、強く揺すったり、強い力で押さえたりしないでください。破損・転倒・ケガの原因になります。●製品の上に乗ったり、座ったり、踏み台としての使用は絶対にしないでください。大変危険です。●高温の物、危険物、壊れやすい物、貴重品を載せたり周囲に置いたり、それらの上で使用したりしないでください。●鍋やフライパンなどを、油が残ったまま載せしないでください。樹脂部品の劣化が早まる可能性があります。●消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナー)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに除去してください。●樹脂部品の長期使用により劣化します。異常を感じた場合、直ちに使用を中止してください。●物を載せたまま移動や持ち運びはしないでください。●汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように拭き取った後、乾いた布で拭きとってください。たわし、磨き粉で磨くとキズがつきます。●使用中、ゆがみ、ねじれ、ねじの緩み、樹脂部のひび割れなどが発生する場合があります。定期的に点検を行い、調整を行ってください。ひび割れ、破損や変形など異常を発見された場合、直ちに使用を中止してください。また、固定ねじの緩みは棚の落下につながります。特に注意して点検してください。●日本国外に持ち出された商品は、補償の対象外となります。

### △ ステンレスパイプの取り扱いとお手入れ

- ステンレスは鉄に比べ錆びにくい特性を持っておりますが、使用条件や使用環境によっては錆が発生することがあります。
- パイプ表面に斑点状の赤錆が発生することがあります。「もらい錆」と呼ばれ、大気中の微細な鉄粉が湿気などでこびり付いて錆びたものです。
- 早期の「もらい錆」は目の細かいサンドペーパーやクレンザーなどで取り除くことができます。
- 漂白剤・タイル用洗剤・酸性洗剤類はステンレスの表面構造を傷め、腐食を引き起こす原因になります。決して使用しないでください。

※品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。  
※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが右記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。  
※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。

材質表示
パイプ類 ... ステンレスパイプ
樹脂部品 ... PP樹脂、合成ゴム
ねじ類 ... 鉄・メッキ

DESIGNED IN JAPAN 271219V  
MADE IN CHINA



平安伸銅工業株式会社  
TEL 06-6228-8986  
9:30-17:00(土・日・祝日除く)  
www.heianshindo.co.jp